

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証(令和2年度分)

(円)

No	事業名	担当課	事業概要	総事業費	交付金充当額	事業始期	事業終期	事業実績	事業の効果	備考
1	休業要請協力金・支援金(経営支援①)	企画商工課	①福島県緊急事態措置により、休業又は営業自粛した事業者の事業継続のため支援金を支給する。なお、5/7以降分は休業等のほかに「新しい生活様式」への取組みを行うことを条件とする。 ②休業要請に伴う協力金・支援金 商工会への事務手数料 ③福島県感染症拡大防止協力金・支援金の交付対象となった村内事業者 ・協力金(～5/6分)定額100千円×17件＝1,700千円 ・支援金(5/7～分)定額100千円×17件＝1,700千円 ・事務委託手数料(商工会)34件×1,500円＝51千円 計3,451千円 ④村内飲食店、宿泊業者等(窓口:商工会)	3,007,500	3,000,000	R2.5.1	R3.3.24	休業又は営業を自粛した事業者に対し協力金・支援金を支給した。 件数 30件 協力金・支援金等 3,007,500円	村内事業者の下支えに寄与することができた。	
2	経営持続化支援給付金(経営支援②)	企画商工課	①売上が前年同月比で50%以上減少している中小企業・小規模事業者の事業継続を支援するために給付金を支給する。 ②雇用維持や事業継続のための定額給付金 商工会への事務手数料 ③国の持続化給付金の交付対象となった村内事業者 ・給付金 定額100千円×110件＝11,000千円 ・事務委託手数料(商工会)110件×1,500円＝165千円 ④村内中小企業・小規模事業者(窓口:商工会)	10,759,000	10,400,000	R2.5.1	R3.3.24	中小企業・小規模事業者の事業継続を支援するために給付金を支給した。 件数 106件 給付金等 10,759,000円	長期化するコロナ禍により、厳しい状況が続く事業者を支援することができた。	
3	事業継続支援金	企画商工課	①国の持続化給付金の交付対象に満たない農林業を含む村内事業者で4～5月の売上が、前年同月比で30%以上50%未満減少しており、引き続き事業継続する事業者に対して支援金を支給する。 ②③事業者への事業継続支援金 支援金 定額100千円×12件＝1,200千円 ・事務委託手数料(商工会)12件×1,500円＝18千円 ④村内事業者	912,000	800,000	R2.5.1	R3.3.24	引き続き事業継続する国の持続化給付金の交付対象に満たない農林業を含む村内事業者に対し、支援金を支給した 件数 9件 支援金等 912,000円	長期化するコロナ禍により、厳しい状況が続く事業者を支援することができた。	
4	雇用調整助成金申請費用支援事業	企画商工課	①雇用調整助成金の支給申請のため、社会保険労務士等に依頼する場合の費用の一部を支援金として交付する。 ②社労士等に支払った報酬の1/2以内の額(上限200千円) ③・支援金 上限200千円×2事業者＝400千円 ・事務手数料(商工会)2事業者×4回×1,500円＝12千円 ④村内中小企業等事業主(窓口:商工会)	132,000	100,000	R2.5.1	R3.3.24	雇用調整助成金の支給申請のため、社会保険労務士等に依頼する場合の費用の一部を支援金として支給した。 件数 3件 支援金等 132,000円	長期化するコロナ禍により、厳しい状況が続く事業者を支援することができた。	
5	道の駅ひらた出荷事業者支援金	企画商工課	①村の要請で休業した「道の駅ひらた」の出荷事業者で、販売額が減少した出荷者の事業継続のために支援金を支給する。 また、「道の駅ひらた」を臨時休業に伴い、出荷先を失った生産者のために新たな出荷販売ルートを確認し、出荷物のとりまとめや販売先までの運搬業務等に従事した緊急雇用者へ賞金を支給する。 ②事業継続のための支援金 道の駅ひらたへの支給事務手数料 販路拡大のために雇用した者の人件費 ③4～5月の販売額が前年同月比で30千円以上減少した出荷事業者 ・減少額500千円以上 :150千円×5人 ・減少額200千円以上～500千円未満:100千円×12人 ・減少額100千円以上～200千円未満:50千円×13人 ・減少額30千円以上～100千円未満:20千円×22人 ・事務手数料(道の駅ひらた):30千円 販路開拓人件費1千円/時間×6時間×30日:180千円 ④道の駅ひらた出荷事業者(窓口:道の駅ひらた)	3,172,000	3,150,000	R2.7.3	R2.7.31	村の要請で休業した「道の駅ひらた」の出荷事業者で、販売額が減少した出荷者の事業継続のために支援金を支給した。また、臨時休業に伴い、出荷先を失った生産者のために新たな出荷販売ルートの確保と、出荷物の集約等に従事した緊急雇用者へ賞金を支給した。 件数 53件 支援金等 3,172,000円	長期化するコロナ禍により、厳しい状況が続く事業者を支援することができた。	
6	地域経済活性化プレミアム商品券発行事業	企画商工課	①村内のみで利用できるプレミアム付き商品券を発行し、村内での消費拡大を図り地元商店・事業者等の景気回復を図る。 ②③商品券のプレミアム分及び事務費 ・発行1億円のプレミアム分1億円×20%＝20,000千円 ・取扱い手数料(商工会)1億円×2%＝2,000千円 ・商品券・PRチラシ印刷費等事務費一式500千円 計22,500千円 ④村民(発行:商工会)	22,500,000	22,300,000	R2.4.1	R3.3.31	プレミアム付き商品券事業に係る、補助及び事務費 実績額 22,500,000円	プレミアムが付いた商品券を発行することにより、コロナ禍の影響を受けた事業者の売上支援を図ることができた。	

7	新型コロナウィルス対策特別資金信用保証料補助金	企画商工課	①セーフティネット4・5号及び危機関連保証認定者の資金融資申請時の信用保証料の一部を補助する。 ②③信用保証料の事業者負担額(上限20万円まで) ・保証料補助金 上限額200千円×1社＝200千円 ・事務委託手数料(商工会) 1件×1,500円＝2千円 ④村内事業主	9,500	0	R2.5.1	R3.3.24	セーフティネット4・5号及び危機関連保証認定者の資金融資申請時の信用保証料の一部を補助した。 補助金等 9,500円	資金融資申請時の信用保証料の一部を補助することにより、申請者の負担軽減を図ることができた。
8	アフターコロナ消費拡大キャンペーン(地元産品活用支援事業)	産業建設課	①売上の落ち込んだ地元業者の救済と、地元産品の良さを再確認してもらうため、村内で開発された6次化商品・特産品を村が購入し、村主催のイベント等で配布してPR、消費活性化を促す。 ②③地元特産品・6次化商品の購入費 総額10,800千円 ・特産品詰合せセット(入浴剤、レトルト商品、栄養ドリンク、日本酒、焼酎、乾麺(うどん・そば)、ひらた牛、菓子類等) ※配布先等(敬老会、文化祭、総合健診、成人式、産業まつり、学生支援宅配便、飲食店・旅館等) ④村民	10,757,810	10,700,000	R2.6.1	R3.2.15	新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上が落ち込んだ地元業者から地元産品を購入し、村主催のイベント等で配布し地元産品のPR・消費活性化を促した。 件数 12件(13,163点) 給付額 10,700千円	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者から地元産品を購入することにより地元事業者の経営安定に寄与し、広く村民へ配布することにより地元産品の素晴らしさを広報・再認識することができ、また地元産品を利用することにより、住民の生活の負担が軽減された。
9	蓬田岳森林公園健康増進事業	企画商工課	①外出自粛の影響を受けた村民にソーシャルディスタンスに十分配慮した上で、自然公園でのウォーキングを啓発し心身ともにリフレッシュしてもらい、健康な村づくりを推進する。 ②啓発用資材の印刷費・施設の追加衛生管理費 ③施設内トイレ衛生用品等 400千円 飛沫対策用備品費 100千円 啓発用入場券印刷及び郵送費 280千円 ソーシャルディスタンス監視員委託費 720千円 計1,500千円 ④村民	1,256,438	1,200,000	R2.6.1	R2.9.11	施設内における感染拡大防止・飛沫対策防止衛生用品等の購入及び施設啓発費用 衛生品等 1,256,438円	外出自粛の影響を受けた村民に、ソーシャルディスタンスに十分配慮した上で、自然公園でのウォーキング等を楽しんでもらい、健康な村づくりを推進することができた。
10	あじさいいっぱいイメージアップ応援事業	企画商工課	①村内で育成されたあじさいを村が購入し、商店街等に配置して飾ってもらい、コロナで落ち込んだ雰囲気明るくし、村のイメージアップと花卉生産農家の支援につなげる。 ②村内で育成されたあじさいの購入と配達経費 ③鉢植えあじさい 2千円×協力事業所等250鉢＝50万円 ④花卉生産農家・花卉業者	448,800	400,000	R2.6.1	R2.7.15	村内で育成されたあじさいの購入費 あじさい購入費 448,800円	村のイメージアップと花卉生産農家の支援を図ることができた。
11	必要物品供給事業	健康福祉課	①感染症予防対策として、需要の高い状況が続いている衛生用品を確保し、村内医療機関及び福祉施設の職員に支給する。 ②衛生用品の購入費 ③対象者数(村内医療機関、福祉施設の職員数)560人 医療用マスク @40円×560人×25日×3か月＝1,680千円 ④医療機関、福祉施設の職員	1,570,800	1,550,000	R2.9.1	R2.9.28	感染症予防対策として、需要の高い状況が続いている衛生用品を確保し、村内医療機関及び福祉施設の職員に支給。 衛生用品マスク@34円×42,000枚 合計1,570,800円	感染症予防対策として、需要の高い状況が続いている衛生用品を確保し、村内医療機関及び福祉施設の職員に支給し、感染予防に努めることができた。
12	感染対策強化事業(衛生用品等備蓄)	健康福祉課	①コロナ再流行時の感染拡大防止対策として、住民向けマスク等をあらかじめ備蓄する。(避難所開設時の衛生環境保持としての活用も兼ねる。) ②衛生用品等の購入 ③全村民 6,000人分 サージカルマスク @22円×6,000人×6枚＝792千円 スチール製保管棚 @20,000円×5台＝100千円 ④全村民	868,670	850,000	R2.7.1	R2.12.15	コロナ再流行時の感染拡大防止対策として、住民向けマスク等をあらかじめ備蓄し、避難所開設時の衛生環境保持としての活用も兼ねる。 避難所用マスク 780,120円 スチールラック 88,550円	コロナ再流行時の感染拡大防止対策として、住民向けマスク等をあらかじめ備蓄し、避難所開設時の衛生環境保持としての活用している。
13	感染症対策備品購入事業	健康福祉課	①感染症予防対策のため役場庁舎内に除菌用電解水給水器を購入し設置する。 ②備品購入・設置にかかる費用 ③除菌用電解水給水器(設置工事費込み) 480千円×2台＝960千円 ④村	935,000	900,000	R2.4.28	R2.5.19	感染症予防対策のため役場庁舎内に除菌用電解水給水器を購入し設置。 本体 398千円×2台 補助液 28千円×10箱 合計 935千円	除菌用電解水給水器により、感染予防に努めることができた。
14	災害指定避難所環境整備事業	総務課	①避難所はスペースが限られており、3密になりやすい空間であることから、集団感染防止のため、間仕切りや換気対策に必要な資器材を整備する。 ②感染拡大防止に備える資器材の購入費 ③避難者300人想定 ・折り畳み式パーテーション @4,500円×300個＝1,350千円 ・段ボールベッド @10,000円×30個＝300千円 ・就寝用エアマット @16,500円×30個＝495千円 ・障がい者用簡易トイレ(自動ラップ式) @205,000円×4個＝820千円 ・簡易トイレ用消耗品セット60回分 @3,400円×75個＝255千円 ・簡易トイレ用パーテーション @4,000円×4個＝16千円 ・ジェットヒーター遠赤外線 @250,000円×2台＝500千円 ・扇風機(サーキュレーター) @4,000円×10個＝40千円 計3,776千円 ④指定避難所	3,236,463	2,200,000	R2.7.1	R2.12.14	避難所用新型コロナウイルス対策資材購入事業 折り畳み式パーテーション 2,970円×240個＝712,800円 段ボールベッド 6,380円×30個＝191,400円 コンパクトエアベッド 1,650円×240個＝396,000円 障がい者用簡易トイレ(自動ラップ式) 178,750円×4個＝715,000円 簡易トイレ用消耗品セット60回分 5,335円×90個＝480,150円 送料 143,000円 折り畳み式パーテーション 4,730円×5個＝23,650円 段ボールベッド 7,150円×1個＝7,150円 クッションマット 1,300円×30個＝39,000円 スノコ(防災倉庫用) 6,050円×10個＝60,500円 防腐・防虫用消耗品一式 10,213円 遠赤外線ヒーター 286,000円×1台＝286,000円 三脚式大型扇風機 7,700円×10台＝77,000円	感染症予防に対策可能な避難所資材を購入したことで、密になりやすい空間に間仕切りや換気対策ができるよう整備したことで、感染症対応の避難所として運営する目途が立った。

15	花いっぱい応援事業	総務課	①外出自粛やイベント中止等の影響で、花の需要が落ち込んでいることから、花苗を買い取り、公共施設や学校等に配布することで花卉生産者を支援する。 ②花苗の購入費 ③花苗 @600円×120本＝72千円 ④花卉生産者	71,690	70,000	R2.6.10	R2.6.18	花いっぱい応援事業 マリーゴールド苗 @670×107本＝71,690円	花苗を購入し、花卉生産者支援を実施することで、花卉生産者の事業継続ができた。また、景観を整備する為の他の資材購入も活発になり、消費の拡大も図られた。	
16	小中学校スクールバス運行事業(増車)	教育課	①スクールバス車内での3密を避けるため、現路線のうち登校時の乗車率が高い2路線でスクールバスを増車する。(5/25～夏季休業前まで) ②スクールバス増車にかかる運行業務委託料 ③48千円/日(2台)×48日×1.1＝2,535千円 ④児童生徒	2,471,040	2,450,000	R2.5.1	R2.8.17	スクールバス車内での密を避けるための増車 小学校スクールバス(48日)1,267千円 中学校スクールバス(48日)1,203千円	適切な距離を保つことが可能となり、感染防止の一助となった。	
17	学校安全・安心確保事業	教育課	①各小中学校での集団感染を防ぐため、随時検温できる体制整備のため、各校に非接触型体温計を配備する。 ②非接触型体温計の購入費 ③小学校2校:14台、中学校1校:3台の学級数 非接触型体温計 @22,000円×17台＝374千円 ④児童生徒	374,000	350,000	R2.4.1	R2.5.15	小中学校体温計設置 小学校2校14台 中学校1校3台 374千円	非接触型体温計の配備により体温計測が容易になり、感染防止と生徒および職員の負担軽減に繋がった。	
18	学校給食納入業者支援事業	教育課	①学校再開後も安定した給食提供のために、臨時休業の影響を直接受けた給食納入業者に対して、事業継続のための支援金を支給する。 ②収入減に伴う定額支援金 ③主食:300千円×1社、牛乳:200千円×1社 ④学校給食納入業者(主食・牛乳)	428,587	400,000	R2.4.1	R2.11.30	臨時休業の影響を直接受けた給食納入業者に対して、事業継続のための支援金を支給した。 主食 2社 240千円 牛乳 1社 188千円	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者に対して給付金を支給することで、事業者の経営安定に寄与した。	
19	学校臨時休業に伴う教材作成	教育課	①学校の臨時休業の長期化にともない、教職員が児童生徒の学習教材の作成に要した経費に充当する。 ②家庭学習に必要な教材作成費(印刷等経費) ③用紙代・印刷経費 @500円/人×500人＝250千円 ④児童生徒	232,648	200,000	R2.4.1	R2.6.24	学校の臨時休業の長期化にともない、教職員が児童生徒の学習教材の作成に要した経費への対応。 印刷 130千円 用紙等の消耗品 102千円	必要な消耗品等の購入により、臨時休業中の学習に対応し得る教材の作成が出来、学習環境の維持に繋がった。	
20	学校の情報環境整備事業(端末整備)	教育課	①文科省GIGAスクール構想に基づき、児童生徒及び教職員が使用するタブレット端末の整備を図る。 ②児童生徒用タブレット端末の1人1台整備に係る経費 ③・「3人に1台分」(地方単独事業)のうち未整備分 単価105千円×204台＝21,420千円 ・「3人に2台分」(国費事業45千円/台)の上乗せ分 上乗せ単価60千円×296台＝17,760千円 ・端末設定費 15,000円×500台＝7,500千円 ④児童生徒444人・教師56人	42,768,000	29,200,000	R3.2.16	R3.6.30	児童生徒用タブレット端末の1人1台整備に係る経費(繰越) 42,768千円	1人1台のタブレット整備により、授業での活用や校内行事のリモート実施、休業中の学習対応などが可能となり、教育のICT化に大きく寄与した。	
21	ウェブサイトリニューアル構築事業	企画商工課	①情報伝達ツールとして重要な役割を果たす行政Webサイトを再構築し、感染症情報や拡大防止策等の情報を住民に分かりやすく伝えられるよう機能を向上する。 ②Webサイト再構築業務委託料 ③3,260千円×1.1＝3,586千円 ④村	3,564,000	3,550,000	R2.4.1	R3.3.31	情報伝達ツールとして重要な役割を果たす行政Webサイトを再構築し、感染症情報や拡大防止策等の情報を住民に分かりやすく伝えられるよう機能向上のための整備。 Webサイト再構築業務委託料 3,586,000円	行政Webサイトを再構築することにより、感染症情報や拡大防止策等の情報を住民に分かりやすく伝える事ができた。	
22	一時避難所環境整備支援金	総務課	①指定避難所への避難者集中を防ぐため、集会所を一時避難所として利用できるよう、各行政区へ感染予防対策を講じるための支援金を支給する。 ②集会所の環境整備のための支援金 ③基本割 300,000円×18行政区＝5,400千円 世帯割 3,000円×2,172世帯＝6,516千円 ④行政区長	11,916,000	11,900,000	R2.9.1	R2.11.5	一時避難所環境整備支援金 基本割300千円×18行政区＝5,400,000円 世帯割3,000×2,172世帯＝6,516,000円	指定避難所への避難者集中を防ぐため、集会所を一時避難所として利用できるよう支援金を支給したことで、各行政区で暖房や冷房等の設備を整備することで、一時避難所として使用する目的が立った。	
23	災害指定避難所環境整備事業(投光器購入)	総務課	①指定避難所での集団感染防止のため、新たな指定避難所として廃校した中学校体育館を使用する際に、夜間の避難所運営で必要になる器材を整備する。 ②投光器の購入費 ③475,500円×4基×1.1＝2,093千円 ④村指定避難所	1,931,600	1,900,000	R2.10.1	R2.12.24	避難所用対策資材購入事業 投光器購入費 482,900円×4基	夜間の避難所運営で必要になる器材を整備したことで、新たな指定避難所とした体育館を避難所として使用する目的が立った。	
24	地域公共交通維持対策支援事業	企画商工課	①村内で運行する公共交通機関(バス、タクシー)に対する、感染症対策と今後の事業継続を支援するため給付を行う。 ②感染対策用品購入費(バス事業者) 事業継続支援金(タクシー事業者) ③④ 「バス事業維持対策支援品」 ・対象:公共バス運行事業者(福島交通) ・マスク:20円×2,000枚×村乗入れ車両11台＝440千円 「タクシー事業維持対策支援金」 ・対象:タクシー事業者(平田タクシー) ・給付額:200千円×車両保有台数2台＝400千円	730,000	700,000	R2.9.1	R2.12.15	村内で運行する公共交通機関(バス、タクシー)に対する、感染症対策と今後の事業継続を支援するための給付金等 ①バス事業維持対策支援品 マスク購入費 330,000円 ②タクシー事業維持対策支援金 給付金 400,000円	村内で運行する公共交通機関(バス、タクシー)に対する、感染症対策と今後の事業継続支援に寄与することができた。	

25	学校安全・安心確保事業（網戸設置）	教育課	①中学校の柔剣道場は、部活動のほか、夜間の一般開放でも村民の利用があることから、場内での感染予防対策として、適切な換気が図られるよう網戸を設置する。 ②網戸の購入設置費 ③25,000円×16枚＝400千円 ④ひらた清風中学校	264,000	250,000	R2.8.27	R2.9.18	部活動中の換気対策のため網戸の購入設置 264千円	網戸の設置により必要な換気対策が確保され、感染予防に大いに役立った。	
26	学校安全・安心確保事業（トイレ改修）	教育課	①小学校内での感染予防対策として、トイレでの感染リスクの低減を図るため、既存和式トイレを洋式化するとともに乾式化を図る。 ②和式トイレの改修工事費 ③改修設計委託料 1,268千円 改修工事費 11,792千円 ④蓬田小学校体育館（指定避難所）	12,969,000	12,477,000	R2.9.24	R3.7.21	和式トイレの改修工事に係る設計改修 設計 1,177千円 工事 11,792千円	トイレでの感染リスクの低減を図るため、既存和式トイレを洋式化するとともに乾式化を図るための改修を実施し、飛沫等による感染予防に繋がることが出来た。	
27	学校給食センター安全・安心確保事業（手洗い器改修）	教育課	①学校給食センター内での調理員等の感染リスクの低減を図るため、室内の手洗い器をセンサー式自動水栓に交換する。 ②手洗い器改修費 ③70,000円×10箇所＝700千円 ④学校給食センター	693,000	650,000	R2.10.1	R2.10.20	学校給食センター内の室内の手洗い器をセンサー式自動水栓に交換 10箇所分 693千円	手洗い時の機器への接触が減り、感染予防に繋がった。	
28	学校安全・安心確保事業（検温モニタ購入）	教育課	①小中学校における感染予防対策として、児童生徒が登校時に瞬時に検温できるよう昇降口に体温測定機を設置する。 ②AI検温モニタの購入費 ③150,000円×3台＝450千円 ④小中学校3校	387,750	350,000	R2.9.24	R2.11.30	小中学校における感染予防対策として、昇降口に体温測定機設置 小中学校各1台 388千円	AI検温モニタの配備により体温計測が容易になり、感染防止と生徒および職員の負担軽減に繋がった。	
29	学校の情報環境整備事業（周辺機器整備）	教育課	①文科省GIGAスクール構想に基づく児童生徒の端末整備にあわせて、全教室に遠隔授業等に対応するためのICT環境を整備する。 ②大型表示装置及び周辺機器等の購入費 ③300千円×25教室＝7,500千円 ④小中学校3校	4,763,000	4,500,000	R3.7.8	R3.12.27	大型表示装置及び周辺機器等の購入費 （緑越） 5,000千円	全教室に遠隔授業等に対応するためのICT環境を整備し、接触を必要最小限に抑えることが可能となった。	
30	フィットネスクラブ感染予防対策用品購入事業	公民館	①フィットネスクラブの運動器具の間を大型透明シールドで仕切り、飛沫感染予防対策を講じる。 ②大型透明シールド（H2,000×W1,500）の購入費 ③55,000円×30基＝1,650千円 ④フィットネスクラブ	1,617,000	1,600,000	R2.9.24	R2.10.28	大型透明シールドを購入した。 30基	飛沫感染の防止対策として設置したことで、フィットネスクラブの利用者が安心して施設を利用できた。	
31	勤労者体育センター感染予防対策用品購入事業	公民館	①災害時の避難所開設時に避難スペースを区画するために必要な間仕切りパネルを購入する。 ②FKeパネルS型（W1200×H1,800×T30）及び付属品購入費 ③FKeパネルS型 16,280円×100枚＝1,628千円 支柱ポールS型 7,095円×70本＝497千円 支柱ポールT型 8,525円×40本＝341千円 パネル収納台車 179,300円×2台＝359千円 ④勤労者体育センター	2,824,250	2,800,000	R2.11.10	R2.12.4	間仕切りパネル等を購入した。 パネル 100枚、支柱ポール 110本、台車 2台	災害時の避難所開設時に避難スペースを区画するために必要な間仕切りパネルを購入し、避難者の三密防止対策として備えた。	
32	スポーツ少年団安心対策事業	公民館	①安心してスポーツ少年団活動が行えるよう、村内で活動するスポーツ少年団に対し、感染予防対策として非接触型体温計を支給する。 ②非接触型体温計の購入費 ③非接触型体温計 7,700円×2台×6団体＝93千円 ④村内スポーツ少年団6団体	53,460	50,000	R2.9.24	R2.10.5	非接触型体温計を購入した。 12台	非接触型体温計を支給し、発熱者の早期発見、練習等への参加抑制につなげた。	
33	勤労者体育センター換気対策事業	公民館	①施設利用者の感染予防対策として、施設内の換気対策を図るとともに、併せて夜間利用時の網戸からの虫の混入を防ぐため暗幕を設置する。 ②暗幕カーテン、網戸の設置工事費 大型送風機の購入費 ③暗幕カーテン 30,000円×100m＝3,000千円 ビル用網戸 25,000円×53枚＝1,325千円 網戸取付調整費 一式 175千円 大型送風機 220,000円×4台＝880千円 ④勤労者体育センター	4,609,000	4,600,000	R2.12.9	R3.3.31	勤労者体育センターに暗幕カーテン、網戸を設置、大型送風機を購入した。 暗幕カーテン 101m 網戸 53枚 大型送風機 4台	網戸の設置、夜間利用時の網戸からの虫の混入を防ぐための暗幕の設置、大型送風機を活用して、感染防止対策として施設内の換気に務めた。	

34	勤労者体育センター衛生環境整備事業	公民館	①和式トイレの洋式化及び床面の乾式化、手洗い場のセンサー付き自動水栓化を図ることで、感染予防のための対策を講じる。 ②手洗い場センサー付き自動水栓化(4箇所) 男子トイレ洋式化(人感):小便器5箇所、大便器2箇所 女子トイレ洋式化(人感):小便器5箇所 トイレ床乾式化(A=65㎡) 照明器具人感センサー化 ③改修設計委託料 75千円×16日×1.1=1,300千円 トイレブース交換 120千円×7箇所×1.1=924千円 大便器交換(設備費込み) 340千円×7基×1.1=2,618千円 小便器交換(設備費込み) 200千円×5基×1.1=1,100千円 トイレ床乾式化改修 120千円×65㎡×1.1=8,580千円 照明器具交換 45千円×12灯×1.1=594千円 手洗い器交換 80千円×4箇所×1.1=352千円 既存設備産廃処分料 一式230千円 ④勤労者体育センター	13,497,000	13,450,000	R2.9.24	R3.3.31	勤労者体育センターのトイレブースを改修した。 手洗い場の自動水栓化 2箇所 照明器具人感センサー化 14箇所 換気扇人感センサー化 3箇所 和式トイレの洋式化 5箇所 小便器の人感センサー化 3箇所 床の乾式化 18.4㎡	感染防止の対策として、トイレブース全体の衛生環境改善を行い、施設利用者が安心して利用できるようになった。	
35	中央公民館感染予防衛生用品購入事業	公民館	①不特定多数の利用者が出入りする公民館及び体育施設での感染予防対策として、施設入口や手洗い場等に衛生用品を設置する。 ②消毒液・ペーパータオルの購入費 ③消毒液 2,800円×72本=201,600円 ペーパータオル 4,100円×24箱=98,400円 ④中央公民館・勤労者体育センター等	274,032	250,000	R2.9.24	R2.10.5	消毒液、ペーパータオルを購入した。 消毒液5ℓ 72本 ペーパータオル 24箱	公民館や体育施設の入口、手洗い場に衛生用品を設置したことで、基本的な感染防止対策に寄与した。	
36	中央公民館感染予防対策備品購入事業	公民館	①不特定多数の利用者が多い公民館及び勤労者体育センターでの感染予防対策として、施設入口に体温測定器を設置する。 ②AI検温モニタの購入費 ③150,000円×2台=300千円 ④中央公民館・勤労者体育センター	258,500	250,000	R2.9.24	R2.11.11	検温モニタを購入した。 2台	公民館や勤労者体育センターの入口に設置したことで、発熱者の把握により入場抑制が可能となり、感染拡大の防止に寄与した。	
37	PCR検査委託事業	健康福祉課	①県外から本村に帰省する大学生等に対して、無料でPCR検査を受けられる体制を整備し、感染拡大の防止を図る。 ②PCR検査委託料 ③13,500円×100人×1.1=1,485千円 ④本村出身の大学・専門学校・予備校生等	1,485,000	1,090,000	R2.7.27	R3.3.31	県外から本村に帰省する大学生等に対して、無料でPCR検査を受けられる体制を整備し、感染拡大の防止を図る。 100名×14,850円 合計1,485千円	県外からの帰省する大学生等に対してPCR検査を実施することで、感染の拡大防止が図られた。	
38	保健事業環境整備事業	健康福祉課	①乳幼児対象の保健事業の実施にあたり、会場内での感染予防対策のため、乳幼児マットにより区画し子ども同士の間隔を確保する。 ②乳幼児マットの購入 ③5,000円×50枚=250千円 ④中央公民館(保健センター機能施設)	237,600	200,000	R2.10.16	R3.3.31	乳幼児対象の保健事業の際、会場内での感染予防対策のため、乳幼児マットにより子ども同士の間隔を確保する。 4,320円×50枚×1.1 合計237,600円	マットで間隔を確保したことで乳幼児の感染予防を図ることができた。	
39	児童扶養手当受給者緊急支援事業	健康福祉課	①ひとり親世帯の感染予防対策にかかる経済的負担に対して定額支援金を支給する。 ②支援金 ③支給額 20,000円(定額)×72名=1,440千円 郵送料 84円×144通=13千円 ④児童扶養手当受給者(令和2年8月現在)	1,440,000	1,400,000	R2.8.1	R3.3.31	ひとり親世帯の感染予防対策にかかる経済的負担に対して定額支援金を支給 人 数 72名 支給額 1,440千円	ひとり親世帯の経済的負担の軽減につながった	
40	特別児童扶養手当受給者緊急支援事業	健康福祉課	①特別児童扶養手当受給世帯の感染予防対策にかかる経済的負担に対して定額支援金を支給する。 ②支援金 ③支給額 30,000円(定額)×20名=600千円 郵送料 84円×40通=4千円 ④特別児童扶養手当受給者(令和2年7月現在)	600,000	550,000	R2.8.1	R3.3.31	特別児童扶養手当受給世帯の感染予防対策にかかる経済的負担に対して定額支援金を支給 人 数 20名 支給額 600千円	特別児童扶養手当受給世帯の経済的負担の軽減につながった	
41	子育て世帯への子育て支援金給付事業	健康福祉課	①国の「子育て世帯への臨時特別給付金」の対象とならなかった新生児(令和2年4月1日から令和3年3月31日に生まれた新生児)及び世帯の収入やアルバイトの収入減により学生生活の継続に支障をきたしている学生に対して支援金を支給する。 ②新生児給付金 1人当り10,000円(定額) 大学生等給付金 1人当り20,000円(定額) ③新生児 10,000円×25名=250千円 大学生 20,000円×148名=2,960千円 郵送料 84円×340通=29千円 ④新生児の保護者 本村に住所を有する者の扶養親族である者が大学等に修学している学生	1,960,000	1,550,000	R2.8.1	R3.3.31	国の「子育て世帯への臨時特別給付金」の対象とならなかった新生児及び世帯の収入やアルバイトの収入減により学生生活の継続に支障をきたしている学生に対して支援金を支給 【新生児】 人数 24名 支給額 240千円 【大学生】 人数 86名 支給額 1,720千円 【合計】 人数 110名 支給額 1,960千円	国の「子育て世帯への臨時特別給付金」の対象とならなかった新生児及び世帯の収入やアルバイトの収入減により学生生活の継続に支障をきたしている学生の経済的負担の軽減につながった。	

42	障がい者感染予防対策支援事業	健康福祉課	①感染により重症化の恐れがある障がい者等の感染予防対策にかかる経済的負担に対して定額支援金を支給する。 ②支援金 ③支給額 10,000円(定額)×380名=3,800千円 郵送料 84円×760通=64千円 ④18歳以上の身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・自立支援・療育手帳所持者もしくは養育者	3,540,000	3,200,000	R2.8.1	R3.3.31	感染により重症化の恐れがある障がい者等の感染予防対策にかかる経済的負担に対して定額支援金を支給 人 数 354名 支給額 3,540千円	障がい者の感染予防に係る経済的負担の軽減により、感染の予防が図られ、重症化の防止となった。	
43	地域福祉センター指定避難所環境整備事業	健康福祉課	①特別養護老人ホームの要介護者の避難所となる地域福祉センターでの3密を防ぐため、エアコンが整備されていない室へのエアコン設置と集団感染防止のために必要な資器材を購入する。 ②エアコン設置(2台)にかかる工事費 感染予防対策資器材の購入費 ③[エアコン設置工事] ・エアコン設置工事(電気工含む) 400千円×3台=1,200千円 [資器材の購入] ・AI検温モニター 150千円×1台=150千円 ・自動ラップ式トイレ 200千円×3台=600千円 ・自動ラップ式トイレ用手すり 40千円×3台=120千円 ・トイレ用段ボール間仕切り 33千円×3個=99千円 ・予防セット(エプロン、キャップ、手袋) 360円×200組=72千円 ・避難者用オムツ(80枚入り) 7,700円×10箱=77千円 ・折畳み式簡易ベット 16,400円×10台=164千円 ・エアーマット 1,800円×30組=54千円 ④村地域福祉センター	2,279,530	2,250,000	R2.9.24	R3.3.12	特別養護老人ホームの要介護者の避難所となる地域福祉センターでの3密を防ぐため、エアコンが整備されていない室へのエアコン設置と集団感染防止のために必要な資器材を購入 エアコン設置工事 1,100,000千円 簡易ベッド・エアーマット 211,970円 簡易トイレ・手すり・間仕切り 755,370円 避難所用衛生用品 手袋・ガウン・キャップ 31,240円 おむつ・バット・タオル等 51,700円 検温モニター 129,250円 合計 2,279,530円	避難所となる地域福祉センターでの感染拡大と、集団感染対策が図られた。	
44	ジュビアランドひらた感染予防対策事業	企画商工課	①観光施設であるジュビアランドひらた内にある公衆トイレの便器の自動洗浄化及び手洗い場の自動水栓化を図り、感染予防対策を図る。 ②便器及び手洗い場改修にかかる工事費 ③手洗い自動水栓化工事 100千円×7箇所=700千円 便器自動洗浄化工事(電気・給排水工事込み) (小便器)180千円×3箇所=540千円 (大便器)276千円×10箇所=2,760千円 ④ジュビアランドひらた(村)	3,671,800	3,400,000	R2.11.11	R3.3.31	公衆トイレの自動洗浄化及び手洗い場の自動水栓化工事。 工事費等 3,671,800円 手洗い自動水栓化 7箇所 便器自動洗浄化 10カ所	観光施設であるジュビアランドひらた内にある公衆トイレの便器の自動洗浄化及び手洗い場の自動水栓化を図り、感染予防対策を図ることができた。	
45	蓬田岳の魅力磨き上げ事業	企画商工課	①本村の集客力ある有力な観光資源である「蓬田岳登山」の魅力を磨き上げ、更なる観光客を誘致し、低迷する道の駅・入浴施設・農家民宿等村内経済活動に波及させる。 ②案内看板(登山口7、分岐4、山頂1)の作成設置費 登山ガイドパンフレットの作成 山頂の支障木刈払い委託費 県産材を活用した遊歩道の整備費 ③[案内看板作成設置] ・看板作成費 38,500円×12基=462千円 ・看板設置費 28,000円×11基+84,000円(山頂)=392千円 ・登山口ガイド作成費 52,000円×7基=364千円 ・ガイド設置費 31,000円×7基=217千円 ・看板・ガイドデザイン料 62千円 [登山ガイドパンフレット作成費] ・パンフ印刷費 19,04円×20,000部=381千円 [山頂支障木刈払い委託費] ・山頂刈払い報償 15千円×10人×1日=150千円 [遊歩道整備費] ・県産木材購入費 200千円/㎡×22㎡=4,400千円 ・雑材費(金物類) 72千円 ④村(蓬田岳)	6,028,235	6,000,000	R2.10.29	R3.2.26	蓬田岳登山道の整備、支障木刈払い、看板作成・設置費等 工事、委託料等 6,028,235円	蓬田岳登山の魅力を磨き上げるにより、登山者の集客、低迷する道の駅や農家民宿等、村内経済活動を活性化することができた。	

46	平田村の名産品魅力発信事業	企画商工課	①本村の地域資源である、日本酒・焼酎・6次化商品の魅力をPRするため、ポスター、チラシ、観光パンフレット等を作成し、村内外の飲食店・小売店・道の駅・宿泊施設等に掲示し、経済活動の喚起を図る。 ②ポスター・チラシ・観光パンフの作成業務委託料 (ポスターA2/B2:500枚、チラシA4:2万枚、観光パンフ3種:各2万枚) ③業務委託料 ・商品取材撮影費 130千円×4日×1.1=572千円 ・デザイン編集費 18千円×10日×1.1=198千円 ・A2ポスター印刷費 302円×500枚×1.1=166千円 ・B2ポスター印刷費 330円×500枚×1.1=183千円 ・A4チラシ印刷費 4円×2万枚×1.1=88千円 ・A4観光マップ印刷費 21円×2万枚×1.1=462千円 ・観光マップW600印刷費 21円×2万枚×1.1=462千円 ・おもてなしパンフ印刷費 23円×2万枚×1.1=506千円 ④村	2,431,000	2,400,000	R2.10.27	R3.3.26	6次化商品、観光関係等のパンフレット・ポスター等委託・印刷製本費 委託料等 2,431,000円	6次化商品等の魅力をPRするため、ポスター、チラシ、観光パンフレット等を作成し、村内外の飲食店・小売店・道の駅・宿泊施設等に掲示し、経済活動の活性化を図ることができた。	
47	脱炭素社会への移行事業	企画商工課	①新型コロナウイルス感染対策で、観光客の移動手段として自家用の利用が増えており、観光客に安心して村内に来てもらうことは景気対策にもつながるため、観光客が多く立ち寄る「道の駅ひらた」に電気自動車の急速充電設備を設置する。 ②急速充電器設置にかかる負担金 ③急速充電器設置工事負担金 7,900千円×1基=7,900千円 電力供給工事負担金 500千円×1基= 500千円 ④道の駅ひらた	8,368,647	7,850,000	R2.12.21	R3.2.26	「道の駅ひらた」に電気自動車の急速充電設備の設置 急速充電設備 1基 急速充電器設置工事負担金等 8,368,647円	「道の駅ひらた」に電気自動車の急速充電設備を設置することにより、観光客に安心して村内に来ていただき、交流人口の増加に寄与することができた。	
48	新生児特別定額給付金事業	総務課	①国の特別定額給付金の対象とならない新生児を対象に、コロナ禍中での出産・子育てに係る生活支援として給付金を支給する。 ②定額給付金(10万円) ③10万円×25人=2,500千円 ④令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれ、村内に	2,300,000	2,000,000	R2.4.28	R3.3.31	新生児特別定額給付金事業 100,000円×23人=2,300,000円	国の特別定額給付金の対象とならない新生児を対象に、生活支援として給付金を支給したことで、生活の安定を図ることができた。	
49	期日前投票システム導入事業	総務課	①期日前投票所における感染予防対策として、選挙人が投票所内に留まる時間を最小限にするため、受付事務の効率化を図るためのシステムを導入する。 ②選挙人名簿照合システムの導入費 ③システム導入費 650千円×1台×1.1=715千円 システム設定費 350千円×1台×1.1=385千円 バーコードリーダー 5,400円×1台×1.1=6千円 システム保守料 16,200円×6月×1.1=107千円 ④村	1,106,050	1,100,000	R2.10.14	R3.3.31	期日前投票システム導入事業 一式	期日前投票システムを導入したことにより、受付で人が滞留することがなくなり、投票所内での感染症予防をすることができた。	
50	役場庁舎内感染予防対策事業	総務課	①庁舎入口に来客用の検温システムを設置するとともに、来客対応にあたる窓口等にクリアパネルを設置し、来客と職員の感染予防対策を強化する。 ②AI検温モニタ・クリアパーテーションの購入費 ③検温モニタ 286千円×1台=286千円 クリアパーテーション600型 20千円×2台=40千円 クリアパーテーション900型 22千円×2台=44千円 クリアパーテーション1200型 26千円×5台=130千円 クリアパーテーション1500型 32千円×2台=64千円 クリアパーテーション1800型 38千円×3台=114千円 ④村	547,910	500,000	R2.8.7	R2.11.20	役場庁舎内感染予防対策事業 クリアパーテーション418,660円 600型:144千円×2台、900型:216千円×2台、 1200型:249千円×5台、1500型:269千円×2 台、1800型:289千円×3台 384,340円 打合せテーブル 34千円、1500型 17,160円× 2台=34,320円 AI検温モニタ 129,250円	来客と職員の感染予防対策を強化したこと から、新型コロナウイルスの感染拡大すること なく業務を継続することができた。	
51	庁舎別棟倉庫備蓄品保管棚整備事業	総務課	①新型コロナウイルス感染予防対策に備え、備蓄品として購入したマスクや消毒液等の衛生用品(No.12)を保管するため、役場庁舎別棟倉庫内に備蓄品保管スペースを設置するにあたり必要となる移動棚を設置する。 ②ハンドル式移動棚の購入費 ③移動棚2連複式(付属品・設置費を含む) 630千円×7基×1.1=4,851千円 ④村	4,730,000	4,700,000	R2.9.24	R2.12.28	庁舎別棟倉庫備蓄品保管棚整備事業 ハンドル式移動棚 7基、レール3本、スロープ6 本 4,730,000円	稼働式棚を設置したことで、感染症対応で増加した備蓄品等を適切に整理・保管することができた。	

52	役場庁舎Wi-Fi環境整備事業	総務課	①「新しい生活様式」を踏まえ、WEB会議や事務室の分散に対応できるよう役場庁舎内に無線LAN環境を構築する。 ②無線LAN(Wi-Fi)環境の構築費 ③無線アクセスポイント 100千円×5台=500千円 VPNアクセスルーター 220千円×1台=220千円 ルーター用ライセンス(管理) 29千円×1台=29千円 ルーター用ライセンス(中継) 29千円×1台=29千円 電源供給用HUB 100千円×1台=100千円 認証装置 1,250千円×1台=1,250千円 認証装置用ライセンス(SNS/災害時開放/Sメール) 330千円×3個=990千円 LAN配線費 440千円×1式=440千円 機器据付費 110千円×1式=110千円 機器設定費 600千円×1式=600千円 試験調整費 55千円×1式=55千円 諸経費 222千円×1式=222千円 ④村	4,412,430	4,400,000	R2.11.4	R3.2.1	役場庁舎Wi-Fi環境整備事業 Wi-Fi環境整備 4,008,730円 LANケーブル敷設 403,700円	WEB会議や事務室の分散に対応できるよう役場庁舎内に無線LAN環境を整備したことで、適切に業務を継続ができ、zoom会議等の実施ができる環境整備をすることができた。
53	議会映像配信システム更新事業	総務課	①議会の議場内での感染予防対策として、傍聴者の入場制限を行う必要があるため、庁舎ロビーにおいて中継映像を視聴できる環境を構築する。 ②議会映像配信システムの導入費 ③SDIエンコーダ 385千円×1台=385千円 HDMIデコーダ 143千円×1台=143千円 ケーブル配線・試験調整費 110千円×1式=110千円 ④村	537,900	500,000	R2.10.14	R3.1.29	議会映像配信システム更新事業 映像配信システム追加 479,600円 LANケーブル敷設 58,300円	庁舎ロビーにおいて中継映像を視聴できる環境を構築したことで、新型コロナウイルスの感染拡大することなく、議会の開催及び傍聴をすることができた。
54	密集軽減のための輸送能力増強事業	総務課	①本村所有バスは1台であるため、利用者の密集を軽減するため新たに中型バス1台を購入し、感染予防対策を講じる。 ②中型バスの購入費 ③22,500千円×1台=22,500千円 ④村	22,330,000	22,300,000	R2.10.22	R3.3.25	密集軽減のための輸送能力増強事業 中型バス 35人乗 1台	中型バスを購入したことで、狭い空間での新型コロナウイルスへの感染を心配することなく、事業等にバスを活用することができた。
55	災害指定避難所環境整備事業(車いす購入)	総務課	①感染拡大防止の観点から指定避難所を分散設置することにもない、不足する車いすを購入する。 ②避難所用車いすの購入費 ③スチール製車いす 48千円×4台×3か所=576千円 ④指定避難所	422,400	400,000	R2.9.24	R2.10.14	災害指定避難所環境整備事業 車椅子 35,200円×12台=422,400円	指定避難所を分散設置することにもない、不足する車いすを購入したことで、使用する際には常に消毒した、感染症予防に配慮した車いすが提供できる目途が立った。
56	役場事務室分散対応改修事業	総務課	①庁舎内の感染予防対策として、分散して事務室を確保する必要があるため、隣接する旧幼稚園舎に冷暖房設備を設置し、併せて幼児用トイレの改修等の必要な環境整備を図る。 ②③ ・冷暖房設備設置費 250千円×1台=250千円 ・電気設備(分電盤交換・コンセント増設) 250千円 ・女子WC洋式化改修(床改修含む) 400千円×1基=400千円 ・男子WC幼児用大便器交換 340千円×1基=340千円 ・幼児用小便器交換 180千円×2基=360千円 ・書類収納棚 50千円×14台=700千円 ④村	2,099,900	2,050,000	R2.9.24	R3.2.12	役場事務室分散対応改修事業 分室用収納棚(14台) 715,000円 トイレ改修(小便器2箇所、洋式便器2組) 1,012,000円 電気設備工事 130,900円 エアコン設置(1台) 242,000円	感染症予防対策として、分散して事務室を確保する必要があるため、隣接する旧幼稚園に冷暖房設備等を整備したことから、感染症予防のための分室業務に配慮した環境整備をすることができた。
57	申告相談感染予防対策用品購入事業	税務課	①所得申告相談では、職員と住民が直接対面する必要があるため、感染予防対策として、相談テーブルごとに間仕切り等を設置する。 ②感染予防対策用品の購入 ③申告会場間仕切りパネル(カタログ価格) (平ベース)3,300円×20個×0.7=40千円 (丸ベース)4,873円×6個×0.7=18千円 (有孔ボード)52,470円×20枚×0.7=630千円 (脚)25,080円×26本×0.7=392千円 机上用クリアパーティション(1800×600) 31,790円×6枚=191千円 ④村	1,156,980	1,150,000	R2.9.17	R2.11.20	申告相談対応時の各ブースにおいて、感染防止のための間仕切りパネル及び机上のクリアパーティションを設置	相談者と受付職員を含め、会場内における感染予防策を講じたことで、感染者が出ることなく申告業務が遂行された。
58	高校等通学(臨時)支援金支給事業	総務課	①感染症が長期化する中、村外に通学する高校生が安心して通学できるよう感染対策用品の購入にかかる費用を支援金として定額支給する。 ②通学支援金 1人当り2,000円/月 ③2,000円×167名×12月=4,000千円 ④高校等に通学する生徒の保護者	3,744,000	3,600,000	R2.4.1	R3.3.31	高校等通学(臨時)支援金支給事業 支援金(前期)2,000円×6月×150人=1,800,000円 (後期)2,000円×6月×148人+2,000円×12月×7人=1,944,000円	村外に通学する高校生が安心して通学できるよう感染対策用品の購入にかかる費用を支援金として定額支給したことで、負担の増加した家庭への経済支援をすることができた。
59	水稲農家支援事業	産業建設課	①外出自粛や営業自粛などにより、米の消費低迷に伴う価格下落が発生しており、農業経営の継続支援対策として水稲作付農家に対し支援金を支給する。 ②作付け支援金 3,000円/10a ③作付面積35,100a×3,000円/10a ④米作農家	10,423,200	10,400,000	R2.12.21	R2.12.28	米の消費低迷による価格下落に伴い農業経営継続支援として水稲作付農家に支援金を支給した。 作付支援金 10aあたり3,000円 対象面積 34,868a 支援金 10,423,200円	米の消費低迷に伴う価格下落に対する支援を行ったことで水稲農家の事業継続と経営安定に寄与した。

60	学校給食用品購入事業	教育課	①児童生徒の学校給食での感染防止対策を講じるため、従来から使用していた給食配膳トレー及び箸について、新たに抗菌仕様のものを購入する。 ②給食配膳トレー・箸の購入費 ③トレイ 1,155円×600枚＝693,000円 箸(小) 206円×400膳＝82,400円 箸(大) 222円×300膳＝66,600円 ④学校給食センター	671,000	600,000	R3.3.1	R3.3.24	抗菌仕様の給食配膳トレー及び箸購入 671,000千円	食器の一部を抗菌仕様にする事で、給食時の感染予防に寄与した。	
61	地域福祉センタートイレ改修	健康福祉課	①地域福祉センターの男性用トイレが和式トイレであるため、感染防止対策として洋式トイレ化する。 ②トイレ改修費 ③和式トイレ洋式化 1箇所×500千円 ④福祉センター	330,000	300,000	R3.2.4	R3.3.12	地域福祉センターの男性用トイレを、感染予防のため和式から洋式へ改修。 トイレ改修一式 330千円	和式トイレから洋式トイレに改修することで、衛生的になり感染予防が図られた。	
62	放課後児童クラブトイレ改修事業	健康福祉課	①室内面積が狭い児童クラブの③密対策を図るため、一定面積が確保できる旧幼稚園(廃園)に移転して運営継続するため、園児用トイレを児童用トイレに改修する。 ②トイレ改修費 ③男子トイレ改修(便器交換・トイレブース交換) 女子トイレ改修(便器交換・トイレブース交換) 男女間仕切り壁設置 ④村	4,400,000	4,400,000	R2.11.10	R3.1.29	旧こども園を児童クラブとするためにトイレを児童用に改修。 トイレ改修一式 4,400千円	旧こども園を児童クラブとしたことで、これまでより広い空間で運営できるため、3密を回避でき感染拡大の防止が図られた。	
63	インフルエンザ予防接種推進事業	健康福祉課	①新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を防ぐため、子どもや高校生、乳幼児、妊婦を対象にインフルエンザ予防接種料の上乗せ助成を行い、接種動員を図る。 ②インフルエンザ予防接種料の助成金 ③子ども(上乗せ)3,000円×150人＝450千円 高校生(新規)4,000円×210人＝840千円 乳幼児(上乗せ)3,000円×120人＝360千円 乳幼児(新規)4,000円×120人＝480千円 妊婦(新規)4,000円×25人＝100千円 ④子ども・妊婦・乳幼児	1,569,340	1,100,000	R2.10.1	R3.3.31	新型コロナとインフルエンザの同時流行を防ぐため、子どもや高校生、乳幼児、妊婦に接種勧奨しインフルエンザ予防接種料の上乗せ助成、新規助成を行った。 接種人数 ・乳幼児、小中学生～353人(前年比1.43倍) ・高校生～65人 ・妊婦～3人 合計 421人	前年より乳幼児、小中学生には上乗せ助成、高校生、妊婦には、新規助成としたことで、前年度比で、小中学生では、1.43倍となった。高校生や妊婦の接種者も多く予防接種により発症予防の効果が得られた。	
64	地域経済活性化商品券発行事業	企画商工課	①県の緊急対策による外出自粛要請や飲食店時短要請に伴い、村内の消費落ち込みに対応するため、村内経済の回復を後押しするため、村内で利用可能な商品券を発行する。 ②商品券及び事務費 ③商品券 5,000円×5,950人＝29,750千円 事務委託費1,075千円(事務費693千円+商品券印刷費311千円+ポスターチラシ作成71千円) 郵送料(簡易書留) 570円×2227通＝1,270千円 ④村内に住所を有する者	32,095,000	26,850,000	R3.5.17	R3.11.16	商品券事業に係る、補助及び事務費 実績額 32,095,000円	村内の消費落ち込みに対応するため、商品券を発行し、コロナ禍の影響を受けた事業者の売上支援を図ることができた。	
65	庁舎内タブレット端末導入事業	総務課	①新型コロナウイルス感染症により、リモートでの会議・研修会が増えており、円滑な行政運営を図っていくため、庁内各課にタブレット端末を導入する。 ②タブレット端末等の購入費 ③タブレット端末 45,000円×13台＝585千円 防塵カバー 2,000円×13個＝26千円 ④村	573,287	500,000	R3.3.18	R3.6.14	庁舎内タブレット端末導入事業 タブレット端末 38,269円×13台＝497,497円 レザーケース、強化ガラスシール 75,790円	庁内各課にタブレット端末を導入したことで、増加したzoom会議等に対応した環境整備をすることができた。	
66	子ども・子育て支援交付金	健康福祉課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、小学校が臨時休校になったため児童を預けられる放課後児童クラブを運営する。 ②放課後児童クラブ運営費 ③支援員報酬 606千円、消耗品費 6千円、光熱水費 147千円、通信運搬費 9千円、特別支援委託料 302千円 ④放課後児童クラブ	1,932,255	241,000	R2.4.1	R2.6.17	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、小学校が臨時休校になったため放課後児童クラブを運営 報酬 1,270,790円 需用費 220,465円 委託料 441,000円 合計 1,932,255円	小学校が新型コロナ感染拡大のため臨時休校になっても、児童を預けることができ、子育て支援が図られた。	
67	学校保健特別対策事業費補助金	教育課	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校再開にあたり集団感染のリスクを避けるため、小中学校の児童生徒にマスクを購入し支給する。 ②感染対策用品の購入費 ③290円×500人＝145千円 ④児童生徒	148,500	73,000	R2.4.1	R3.2.26	感染症対策用品購入 品名:アルボース弱酸性泡ハンドソープ500ml R2.6.12 100本 49,500円 R2.7.17 100本 49,500円 R3.2.10 100本 49,500円	コロナ禍において各学校施設内の集団感染リスクを抑える支援は必要不可欠であった。本事業では必要最低限の対策の一環としてその効果を発揮したものである。	
68	学校保健特別対策事業費補助金	教育課	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校における感染症対策や児童生徒の家庭学習等における教材等の購入経費として学校に定額の補助金を支給する。 ②補助金 1校当たり1,000千円 ③1,000千円×3校＝3,000千円 ④小中学校	3,000,000	1,450,000	R2.4.1	R3.3.26	学校における感染症対策や児童生徒の家庭学習等における教材等の購入経費として学校に定額の補助金を支給 各校1,000千円×3校 3,000千円	感染状況に合わせた感染対策や学習体制を整えることが出来、児童生徒の感染を必要最小限に抑えることが出来た。	

69	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	教育課	①文科省GIGAスクール構想に基づき、学校におけるWi-Fi環境の整備を図るとともに、普通教室に電源キャビネットを設置する。 ②Wi-Fi環境及び電源キャビネット整備工事費 ③無線AP 215,600円×18台＝3,880千円 電源保管庫 341,000円×23台＝7,843千円 ④小中学校3校	6,512,000	3,200,000	R3.2.16	R3.6.30	学校におけるWi-Fi環境の整備、普通教室に電源キャビネットを設置。(繰越) 6,512千円	タブレットを活用したりリモートでの授業や行事の開催が可能となり、接触の機会を減らすことが出来、感染予防に繋がった。	
70	公立学校情報機器整備費補助金	教育課	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒がやりとりを円滑に行うため、学校側が使用する通信装置等を購入する。 ②カメラ・マイク等の通信装置の購入費 ③35,000円×3校＝105千円 ④小中学校3校	98,340	46,000	R4.2.24	R4.3.23	緊急時に学校と児童生徒がやりとりを円滑に行うため、マイクやカメラを導入。 105千円	タブレットを活用したりリモートでの授業や行事の開催が可能となり、接触の機会を減らすことが出来、感染予防に繋がった。	
71	学校臨時休業対策費補助金	教育課	①学校の臨時休業に伴い学校給食を停止した際に、事業者既に発注されていた食材等にかかる費用相当を違約金として負担する。 ②学校給食用の食材等の買取費 ③買取実績額278千円 ④村	277,704	68,000	R2.6.22	R2.9.7	学校の臨時休業に伴い学校給食を停止した際に、事業者既に発注されていた食材等にかかる費用相当を違約金として負担した。 主食 157千円 牛乳 120千円	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者に対して、経営安定に寄与した。	